

里山に素材を求めて ～自然素材で作る小さな世界～ 開催中

本日から14日（金）まで、杉並区役所（阿佐谷南1-15-1）2階の区民ギャラリーで、宮内 聡朗氏の「～自然素材で作る小さな世界～」を開催しています。様々な自然素材を使った作品が、区役所を訪れた方々の目を楽しませています。

作者である高円寺在住の宮内 聡朗氏（71歳）は、昨年12月まで都内の小学校で知的障害者学級の教師を務めていました。

宮内氏は自身が小学生のころから図工が好きだったそうですが、実際に作品を作り始めたのは社会人になった後の30歳頃からです。教師だったころの授業では、自然素材でものづくりをすることの楽しさ、大切さを生徒たちと一緒に楽しみながら教えていたということです。

今回の展示は、退職後に友人たちから区役所の区民ギャラリーの展示に応募するよう勧められ、当選したことで実現したものです。

今回の展示では、枯れ葉や樹皮、小枝など様々な自然素材を使った立体作品52点、半田ごてを使用して描く「バーニングアート」という手法で描いた作品14点、陶芸作品19点など、およそ85点の作品が並んでいます。

宮内氏は、「作品に使用している落ち葉や小石などの材料は、散歩のときや旅行先で拾い集めたものがほとんどです。接着剤が乾くまでの間に人形が少し傾いてしまったり、年月が経過することで色合いが変わったりしたところなども含めて楽しんでいただけたら嬉しいです。」と話されていました。



みやうち としろう

宮内 聡朗 ～自然素材で作る小さな世界～

【期間】2月3日（月）～14日（金）（土・日・祝日は除く）

午前9時～午後5時 ※最終日は午後2時まで

【会場】杉並区役所（阿佐谷南1-15-1） 2階区民ギャラリー（入場無料）

【報道機関 問い合わせ先】

文化・交流課 文化振興担当：03-3312-2111 内線3784

広報課報道係：03-3312-2111 内線1502